

BK

VOL.305  
2021年3月4日発行

「いま」を伝え、「未来」を育てる

ビジネス香川

ビジネス香川は毎月第1・第3木曜に、香川県内の朝日新聞と日本経済新聞・毎日新聞(一部地域除く)の購読者に新聞読み込みでお届けしています。



ビジネス香川 検索

バックナンバーも閲覧できます

NIKKEI  
0120-21-4946  
朝日新聞  
0120-33-0843  
毎日新聞  
0120-468-012早明浦ダムの  
貯水率は  
こちら水資源機構  
吉野川本部

## かがわのエンジン

## 微粉を混ぜるだけで、土と水の汚染を除去

## SK66 / 総合開発

建築・土木工場の現場で排出される土や水、工場の排水などに有害物質が含まれていた場合、土壌汚染対策法と水質汚濁防止法に基づいて適正に処理しなければならない。

処理方法はいくつかあるが、有害物質のうち「六価クロム」「六価セレン」は、従来の処理方法だと大規模な施設が必要だったり、コストがかかたりすることが課題だった。この課題に対し、粉末を混ぜるだけで処理できる製品が「SK66」だ。

きっかけは、除去技術をすでに開発していた四国総合研究所からの、技術を生かして何か商品ができないかという提案だった。「もともとうちの会社でも環境分野の研究開発を進めていたので、この技術は土木現場の課題解決に生かせると考えました」と環境事業部課長補佐・小林英司さん。

商品化に向けては、コストを抑えて効果を出す、大量生産する方法……と、クリアすべきことが山積みだった。中でも苦労したのが

データ収集だ。同じ汚染物質でも現場によって濃度、土の成分や水質が違う。あらゆるケースを想定し、この濃度と成分に対して、SK66にどのような物質を組み合わせればいいのか、それぞれの濃度は……。気の遠くなるような数の組み合わせを試し、ようやく適正な値を見つけ出した。

「コストを考えると、ただ製品の能力を上げればいいのかではないんです」。広大な土地の土に混ぜて使う場合は、SK66が大量に必要なためコストが上がりすぎないよう濃度を調整する。水は、混ぜた後の上ずみは捨て、残った沈殿物をプレス加工して廃棄するため、プレスする廃棄物の体積が小さくなるようSK66の能力を上げて除去性能を最大限にする。

「SK66は、今まで除去が大変だった重金属



SK66

類を“混ぜるだけ”で除去できるのが画期的です。データも蓄積されているので、現場の濃度や成分に合わせて半分オーダーメイドのように製品を提供できる点も特徴です。まずは、製品の存在を知ってもらおう広報活動にも力を入れたという。

総合開発が入居している「ネクスト香川」は、新技術や新製品の開発を目指す企業などに提供される県の施設。2020年11月には情報関連事業での創業を目指す人向けに通信環境が整った小規模工房(4室)も開設された。

総合開発はネクスト香川に入居した際に、四国総合研究所とつながりができたという。

ネクスト香川では随時、入居者を募集している。入居資格、設備など詳細は下記まで問い合わせを。  
(公財)かがわ産業支援財団施設管理課  
TEL.087-869-3700 <https://www.kagawa-isf.jp/next/>

問い合わせ

総合開発 環境事業部  
高松市林町2217-44ネクスト香川204  
TEL.0875-25-4131(インフラ本部)  
<https://www.sogokaihatsu.co.jp/>